# インターネットと連動した 【滋賀生活情報紙】

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

⊬ိ www.gaido.jp

vol.63・3月 10日号 毎週木曜発行 4面にプレゼント情報!

●Oh!Me編集室/株式会社ヤマプラ:近江八幡市桜宮町289 TEL0748-34-8870 FAX0748-34-8976

- ●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603
- ●発行/毎日新聞大阪本社販売促進部:大阪市北区梅田3-4-5

発行部数:100,000部





## 孝子さん(66歳)

今回の素敵な人は布絵作家の宮谷孝子 さん。作品展が開催された県立水口文 化芸術会館でお話をうかがった



### ハギレを使って 風景画を作る

宮谷さんの布絵は、使い込まれたハ ギレを縫い合わせ、細かい刺繍をほ どこした風景画。会場ではたくさん の人がそのやさしい作品に見入って いた。

宮谷さんが布絵を始めたのは14年ほ ど前のこと。ふるさとの風景画で有 名な原田泰治氏の絵を見て、身の周 りのハギレで再現した事がきっかけだ。 当時は、年老いた義母と病気のご主 人の介護で心身ともに疲れ果てた毎日。

子供服などを手作りすることが好き だった宮谷さんにとって、布絵は数 少ない楽しみになった。できあがっ た作品をご主人が喜んでくれること もうれしくて、やがて作品作りは生 き甲斐になった。

#### 古い布に 新しい命を…

8年前、友人から展覧会を開くように すすめられ、長浜で初めて作品を発 表することに。「原作の作者・原田さ んにお手紙を出したところ快く承諾 していただけて、励みになりました」 と宮谷さん。さらに展覧会のことが 新聞でとりあげられ話題となり、あ ちこちから作品展の依頼が来るよう になった。宮谷さんの出身地である 岐阜県でも7年前から毎年開催され るほどの人気だ。

布絵の魅力はなんですか?とお聞き すると、「本当なら捨てられてしまう ような古い布に、新たな命がふきこ めること」と宮谷さん。つぎはぎだ らけのものや、すりきれているもの。 そういった布にこそ落しみを感じる

という。

見るものの 胸をうつ

宮谷さんのもう1つ

の代表作が円空仏(江戸時代のはじめ に円空上人が彫った仏像)シリーズ。 これは宮谷さんの心に浮かんだ風景 に円空仏を組み合わせ たもの。見る人の心 に訴えかける眼差し が印象的だ。取材中、 一人の女性がある作品

の前で涙ぐんでいるのに気付いた。 亡くなったご主人を思い出したのだ という。その作品は、宮谷さんがご 主人を亡くした一番つらい時期に完 成させたもの。ご主人への愛情がこ められた作品だったのだ。使い込ま れた布だからこそ表現される深い思い。 心を打たれずにいられなかった。



「原田さんからは、がんばって下さい と励ましの言葉をいただきました。 ですからこれからも、わたしの作品 を見て喜んでくださる方のためにも、 ひと針ひと針に思いを込めて、一人 こつこつと縫い続けていきたいです」 と宮谷さん。体に気をつけていつま でも素敵な作品を作って欲しい。

(取材・福本)





